

平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月7日  
東

上場会社名 国際石油開発帝石株式会社 上場取引所  
コード番号 1605 URL <http://www.inpex.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北村 俊昭  
問合せ先責任者 (役職名) 広報・IRユニットジェネラルマネージャー (氏名) 橋高 公久 (TEL) 03-5572-0233  
四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	244,292	△28.4	95,460	△46.7	100,973	△48.0	23,966	△54.3
27年3月期第1四半期	341,170	12.8	178,997	13.7	194,089	28.9	52,447	74.9

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 △7,696百万円(—%) 27年3月期第1四半期 31,724百万円(△65.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	16.41	—
27年3月期第1四半期	35.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	4,509,423	3,309,511	68.0
27年3月期	4,499,153	3,288,703	68.2

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期3,067,135百万円 27年3月期3,066,680百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	9.00	—	9.00	18.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。甲種株式(非上場)の配当の状況については、別紙の「甲種株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	588,000	△11.3	251,000	△27.6	255,000	△30.8	40,000	△54.9	27.39
通期	1,181,000	0.8	471,000	△11.9	479,000	△16.7	70,000	△10.0	47.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料5ページ「2.(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年3月期1Q	1,462,323,600株	27年3月期	1,462,323,600株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	1,966,400株	27年3月期	1,966,400株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年3月期1Q	1,460,357,200株	27年3月期1Q	1,460,357,200株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施されております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、石油・天然ガス価格、生産・販売計画、プロジェクト開発スケジュール、政府規制、財務・税制条件等の変化により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料4ページを参照してください。

(甲種類株式の配当の状況)

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年3月期	円 銭 —	円 銭 3,600.00	円 銭 —	円 銭 3,600.00	円 銭 7,200.00
28年3月期	—				
28年3月期(予想)		3,600.00	—	3,600.00	7,200.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	13
(重要な後発事象)	13
4. 参考情報	14
(1) 生産、受注及び販売の状況	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間は油価及び海外ガス価が下落したことにより、売上高は、前年同期比968億円、28.4%減の2,442億円となりました。このうち原油売上高は前年同期比714億円、31.5%減の1,550億円、天然ガス売上高は前年同期比240億円、21.9%減の857億円となりました。当第1四半期連結累計期間の販売数量は、原油が前年同期比343千バレル、1.7%増の20,661千バレルとなりました。天然ガスは、前年同期比5,947百万立方フィート、7.9%増の81,459百万立方フィートとなりました。このうち、海外天然ガスは、前年同期比6,329百万立方フィート、10.5%増の66,683百万立方フィートとなり、国内天然ガスは、前年同期比10百万立方メートル、2.5%減の396百万立方メートル、立方フィート換算では14,776百万立方フィートとなっております。販売価格は、海外原油売上の平均価格が1バレル当たり61.82米ドルとなり、前年同期比47.02米ドル、43.2%の下落となりました。海外天然ガス売上の平均価格は千立方フィート当たり7.48米ドルとなり、前年同期比5.62米ドル、42.9%の下落となりました。また、国内天然ガスの平均価格は立方メートル当たり57円63銭となり、前年同期比0円12銭、0.2%の上昇となっております。売上高の平均為替レートは1米ドル121円06銭となり、前年同期比19円07銭、18.7%の円安となりました。

売上高の減少額968億円を要因別に分析しますと、原油及び天然ガスの売上高に関し、販売数量の増加により100億円の増収、平均単価の下落により1,397億円の減収、売上の平均為替レートが円安となったことにより341億円の増収、その他の売上高が14億円の減収となりました。

一方、売上原価は、主にADMA鉦区における売上減に伴いロイヤリティが減少したことにより、前年同期比55億円、4.2%減の1,262億円、探鉦費は主に米州地域での探鉦活動が減少したことにより、前年同期比75億円、87.8%減の10億円、販売費及び一般管理費は前年同期比2億円、1.3%減の215億円となりました。以上の結果、営業利益は前年同期比835億円、46.7%減の954億円となりました。

営業外収益は、投資有価証券売却益が増加したこと等により、前年同期比37億円、19.5%増の227億円となりました。営業外費用は生産物回収勘定引当金繰入額が増加したこと等により、前年同期比132億円、339.4%増の172億円となりました。この結果、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は前年同期比931億円、48.0%減の1,009億円となりました。

法人税、住民税及び事業税と法人税等調整額の合計額は前年同期比562億円、40.8%減の814億円となり、四半期純利益は前年同期比368億円、65.4%減の194億円となりました。非支配株主に帰属する四半期純損失は44億円となり、以上の結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比284億円、54.3%減の239億円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

## ①日本

販売数量の減少により、売上高は前年同期比32億円、10.7%減の273億円となり、営業利益は前年同期比44億円、86.7%減の6億円となりました。

## ②アジア・オセアニア

販売数量の増加及び為替が円安に推移したものの、油価・ガス価の下落により、売上高は前年同期比222億円、19.3%減の927億円となり、営業利益は前年同期比238億円、40.7%減の347億円となりました。

## ③ユーラシア(欧州・NIS諸国)

為替が円安に推移したものの、販売数量の減少及び油価の下落により、売上高は前年同期比172億円、48.6%減の182億円となり、営業利益は前年同期比121億円、69.8%減の52億円となりました。

④中東・アフリカ

為替が円安に推移したものの、販売数量の減少及び油価の下落により、売上高は前年同期比528億円、33.7%減の1,038億円となり、営業利益は前年同期比474億円、44.7%減の587億円となりました。

⑤米州

原油販売数量の増加及び為替が円安に推移したものの、油価・ガス価の下落により、売上高は前年同期比12億円、37.4%減の21億円となりましたが、探鉱費の減少等により、営業損失は前年同期比43億円、73.7%減の15億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は4兆5,094億円となり、前連結会計年度末の4兆4,991億円と比較して、102億円の増加となりました。流動資産は1兆707億円で、現金及び預金の減少等により前連結会計年度末と比較して2,716億円の減少となりました。固定資産は3兆4,386億円で、無形固定資産の増加等により前連結会計年度末と比較して2,818億円の増加となりました。

一方、負債は1兆1,999億円となり、前連結会計年度末の1兆2,104億円と比較して105億円の減少となりました。このうち流動負債は3,554億円で、前連結会計年度末比97億円の減少、固定負債は8,444億円で、前連結会計年度末比7億円の減少となりました。

純資産は3兆3,095億円となり、前連結会計年度末比208億円の増加となりました。このうち、株主資本は2兆5,603億円で、前連結会計年度末比108億円の増加となりました。その他の包括利益累計額は5,068億円で、前連結会計年度末比103億円の減少、非支配株主持分は2,423億円で、前連結会計年度末比203億円の増加となりました。

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、期首の2,609億円から当第1四半期中に減少した資金1,102億円を差し引いた1,507億円となりました。

当第1四半期連結累計期間における営業活動、投資活動及び財務活動によるキャッシュ・フローの状況及びそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、前年同期比334億円減の95億円となりました。これは主に、油価及び海外ガス価の下落により税金等調整前四半期純利益及び法人税等の支払額が減少したことによるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、前年同期比748億円増の1,398億円となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入の増加や長期預金の預入による支出の減少があったものの、権益取得による支出や長期貸付けによる支出が増加したことによるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果得られた資金は213億円（前年同期は10億円の支出）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出が増加したものの、非支配株主からの払込みによる収入が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想については、平成28年3月期第1四半期連結累計期間の実績などを加味した結果、平成27年5月14日に公表の数値から下記のとおり修正を行いました。

1. 第2四半期連結累計期間業績予想（平成27年4月1日～平成27年9月30日）（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益
前回発表予想(A)	595,000	234,000	243,000	34,000
今回修正予想(B)	588,000	251,000	255,000	40,000
増減額(B-A)	△7,000	17,000	12,000	6,000
増減率(%)	△1.2	7.3	4.9	17.6

2. 通期連結累計期間業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
前回発表予想(A)	1,249,000	489,000	512,000	70,000
今回修正予想(B)	1,181,000	471,000	479,000	70,000
増減額(B-A)	△68,000	△18,000	△33,000	—
増減率(%)	△5.4	△3.7	△6.4	—

上記見通しは以下の前提により算出しております。

	前回発表予想	今回修正予想
原油価格 (ブレント)	通期平均 65.0ドル/バレル	第1四半期実績 63.5ドル/バレル 第2四半期以降 60.0ドル/バレル 通期平均 60.9ドル/バレル
為替 (対米ドル)	通期平均 120.0円/ドル	第1四半期実績 121.4円/ドル 第2四半期以降 120.0円/ドル 通期平均 120.4円/ドル

なお、当社販売の原油価格は油種毎に価格が異なり、ブレントに比べ価格差があります。価格差は油の品質等により異なり、また、市況等により価格差も一定ではありません。当社販売の原油価格は一部を除きブレントに比べ低い価格になっております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)  
等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取り扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、上記の変更により四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	922,683	672,462
受取手形及び売掛金	77,209	86,712
有価証券	162,289	127,799
たな卸資産	31,652	35,913
その他	161,481	160,809
貸倒引当金	△12,905	△12,909
流動資産合計	1,342,409	1,070,787
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	138,010	133,697
坑井(純額)	36,391	35,097
機械装置及び運搬具(純額)	109,686	122,541
土地	19,869	19,896
建設仮勘定	1,173,409	1,244,631
その他(純額)	20,254	19,336
有形固定資産合計	1,497,621	1,575,201
無形固定資産		
のれん	74,319	72,629
その他	384,450	510,318
無形固定資産合計	458,769	582,947
投資その他の資産		
投資有価証券	284,090	266,899
生産物回収勘定	703,291	728,266
その他	345,803	430,156
貸倒引当金	△8,398	△8,485
生産物回収勘定引当金	△121,707	△134,047
探鉱投資引当金	△2,727	△2,303
投資その他の資産合計	1,200,352	1,280,485
固定資産合計	3,156,743	3,438,635
資産合計	4,499,153	4,509,423

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	53,474	55,214
短期借入金	33,206	38,624
未払法人税等	60,185	40,144
探鉱事業引当金	9,492	8,364
役員賞与引当金	70	17
資産除去債務	1,093	396
その他	207,690	212,655
流動負債合計	365,212	355,416
固定負債		
長期借入金	643,951	638,203
事業損失引当金	9,080	9,246
特別修繕引当金	227	240
退職給付に係る負債	6,700	6,538
資産除去債務	105,234	108,597
その他	80,044	81,668
固定負債合計	845,238	844,495
負債合計	1,210,450	1,199,911
純資産の部		
株主資本		
資本金	290,809	290,809
資本剰余金	679,287	679,287
利益剰余金	1,584,645	1,595,468
自己株式	△5,248	△5,248
株主資本合計	2,549,494	2,560,318
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	46,049	45,931
繰延ヘッジ損益	△36,423	△28,457
為替換算調整勘定	507,560	489,342
その他の包括利益累計額合計	517,185	506,817
非支配株主持分	222,023	242,375
純資産合計	3,288,703	3,309,511
負債純資産合計	4,499,153	4,509,423

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	341,170	244,292
売上原価	131,807	126,289
売上総利益	209,362	118,003
探鉱費	8,575	1,042
販売費及び一般管理費	21,789	21,500
営業利益	178,997	95,460
営業外収益		
受取利息	2,328	2,194
受取配当金	1,479	1,693
投資有価証券売却益	—	5,663
持分法による投資利益	3,511	—
為替差益	9,913	8,256
その他	1,774	4,915
営業外収益合計	19,008	22,724
営業外費用		
支払利息	604	1,162
持分法による投資損失	—	1,007
生産物回収勘定引当金繰入額	586	13,203
探鉱事業引当金繰入額	1,204	568
その他	1,521	1,268
営業外費用合計	3,917	17,210
経常利益	194,089	100,973
税金等調整前四半期純利益	194,089	100,973
法人税、住民税及び事業税	137,302	75,975
法人税等調整額	438	5,505
法人税等合計	137,741	81,480
四半期純利益	56,347	19,493
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	3,900	△4,473
親会社株主に帰属する四半期純利益	52,447	23,966

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	56,347	19,493
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△363	△123
為替換算調整勘定	△29,776	△34,495
持分法適用会社に対する持分相当額	5,517	7,430
その他の包括利益合計	△24,623	△27,189
四半期包括利益	31,724	△7,696
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	30,706	13,598
非支配株主に係る四半期包括利益	1,017	△21,294

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	194,089	100,973
減価償却費	12,886	14,100
のれん償却額	1,690	1,690
生産物回収勘定引当金の増減額(△は減少)	2,574	13,559
探鉱事業引当金の増減額(△は減少)	△750	△965
その他の引当金の増減額(△は減少)	△72	△19
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△51	40
受取利息及び受取配当金	△3,808	△3,888
支払利息	604	1,162
為替差損益(△は益)	△6,495	△3,820
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△5,663
持分法による投資損益(△は益)	△3,511	1,007
生産物回収勘定(資本支出)の回収額	18,536	14,985
生産物回収勘定(非資本支出)の増加額	△13,671	△22,120
売上債権の増減額(△は増加)	△36,710	△14,919
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,904	△2,396
仕入債務の増減額(△は減少)	5,987	3,968
その他	10,003	577
小計	179,396	98,272
利息及び配当金の受取額	9,756	10,757
利息の支払額	△200	△533
法人税等の支払額	△146,004	△98,995
営業活動によるキャッシュ・フロー	42,949	9,501
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△40,961	△43,477
定期預金の払戻による収入	163,306	247,928
長期預金の預入による支出	△81,698	△32,710
有形固定資産の取得による支出	△108,128	△115,675
有形固定資産の売却による収入	27	16
無形固定資産の取得による支出	△791	△5,553
有価証券の売却及び償還による収入	35,000	49,961
投資有価証券の取得による支出	△5,239	△6,400
投資有価証券の売却及び償還による収入	15,000	9,934
生産物回収勘定(資本支出)の支出	△20,571	△16,413
短期貸付金の増減額(△は増加)	△972	66
長期貸付けによる支出	△2,056	△96,143
長期貸付金の回収による収入	81	178
権益取得による支出	△17,929	△132,278
その他	△1	737
投資活動によるキャッシュ・フロー	△64,935	△139,829

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	20	74
長期借入れによる収入	5,058	—
長期借入金の返済による支出	△4,239	△9,695
非支配株主からの払込みによる収入	8,886	41,647
配当金の支払額	△10,653	△10,653
その他	△79	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,006	21,364
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,180	△1,260
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△24,173	△110,224
現金及び現金同等物の期首残高	117,530	260,978
現金及び現金同等物の四半期末残高	93,357	150,753

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注2)
	日本	アジア・ オセアニア	ユーラシ ア(欧州・ NIS諸国)	中東・ アフリカ	米州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	30,602	114,955	35,473	156,754	3,384	341,170	—	341,170
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	30,602	114,955	35,473	156,754	3,384	341,170	—	341,170
セグメント利益又は損失(△)	5,092	58,603	17,438	106,246	△5,834	181,545	△2,548	178,997

(注) 1 セグメント利益の調整額△2,548百万円は、セグメント間取引消去52百万円及び各報告セグメントに配分して  
いない全社費用△2,600百万円が含まれております。全社費用の主なものは、報告セグメントに帰属しないの  
れんの償却及び一般管理部門にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注2)
	日本	アジア・ オセアニア	ユーラシ ア(欧州・ NIS諸国)	中東・ アフリカ	米州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	27,329	92,740	18,222	103,881	2,118	244,292	—	244,292
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	27,329	92,740	18,222	103,881	2,118	244,292	—	244,292
セグメント利益又は損失(△)	679	34,776	5,274	58,793	△1,534	97,988	△2,528	95,460

(注) 1 セグメント利益の調整額△2,528百万円は、セグメント間取引消去51百万円及び各報告セグメントに配分して  
いない全社費用△2,580百万円が含まれております。全社費用の主なものは、報告セグメントに帰属しないの  
れんの償却及び一般管理部門にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 参考情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

セグメントごとの生産実績は次のとおりであります。

セグメントの 名称	区分	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
日本	原油	0.3百万バレル (日量3.0千バレル)	0.2百万バレル (日量2.6千バレル)
	天然ガス	10.1十億CF (日量110.7百万CF)	8.4十億CF (日量92.7百万CF)
	小計	2.2百万BOE (日量23.8千BOE)	1.8百万BOE (日量20.0千BOE)
	ヨード	128.4t	133.9t
	発電	56.7百万kWh	54.1百万kWh
アジア・オセアニア	原油	3.5百万バレル (日量38.2千バレル)	4.4百万バレル (日量48.5千バレル)
	天然ガス	61.3十億CF (日量673.5百万CF)	66.3十億CF (日量728.5百万CF)
	小計	15.0百万BOE (日量165.0千BOE)	16.9百万BOE (日量185.4千BOE)
ユーラシア (欧州・NIS諸国)	原油	2.3百万バレル (日量25.5千バレル)	2.5百万バレル (日量27.9千バレル)
中東・アフリカ	原油	14.7百万バレル (日量162.0千バレル)	20.9百万バレル (日量229.8千バレル)
米州	原油	0.2百万バレル (日量2.4千バレル)	0.7百万バレル (日量7.2千バレル)
	天然ガス	9.2十億CF (日量101.3百万CF)	8.4十億CF (日量92.1百万CF)
	小計	1.9百万BOE (日量20.4千BOE)	2.1百万BOE (日量23.5千BOE)
合計	原油	21.0百万バレル (日量231.0千バレル)	28.8百万バレル (日量316.0千バレル)
	天然ガス	80.6十億CF (日量885.5百万CF)	83.1十億CF (日量913.4百万CF)
	小計	36.1百万BOE (日量396.7千BOE)	44.3百万BOE (日量486.7千BOE)
	ヨード	128.4t	133.9t
	発電	56.7百万kWh	54.1百万kWh

(注) 1 海外で生産されたLPGは原油に含みます。

2 原油及び天然ガス生産量の一部は、発電燃料として使用しております。

3 上記の生産量は持分法適用関連会社の持分を含みます。また、上記の生産量は連結子会社及び持分法適用関連会社の決算日にかかわらず、4月1日から6月30日の実績となっております。

4 当社グループが締結している生産分与契約にかかる当社グループの原油及び天然ガスの生産量は、正味経済的取分に相当する数値を示しております。なお、当社グループの権益比率ベースの生産量は、前第1四半期連結累計期間は原油28.5百万バレル(日量313.0千バレル)、天然ガス104.4十億CF(日量1,147.3百万CF)、合計48.1百万BOE(日量528.7千BOE)、当第1四半期連結累計期間は原油34.3百万バレル(日量376.4千バレル)、天然ガス106.5十億CF(日量1,170.4百万CF)、合計54.2百万BOE(日量595.6千BOE)となります。

5 BOE(Barrels of Oil Equivalent)原油換算量

6 ヨードは、他社への委託精製によるものであります。

7 数量は小数点第2位を四捨五入しております。

②受注実績

当社グループの販売実績のうち、受注高が占める割合は僅少であるため受注実績の記載は省略しております。

③販売実績

セグメントごとの販売実績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	区分	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	
		販売量	売上高	販売量	売上高
日本	原油	210千バレル	2,349	135千バレル	1,063
	天然ガス (LPGを除く)	15,158百万CF	23,360	14,776百万CF	22,818
	LPG	2千バレル	14	2千バレル	12
	その他		4,877		3,434
	小計		30,602		27,329
アジア・オセアニア	原油	2,826千バレル	31,851	4,068千バレル	31,002
	天然ガス (LPGを除く)	50,745百万CF	77,153	57,678百万CF	58,894
	LPG	734千バレル	5,950	541千バレル	2,842
	小計		114,955		92,740
ユーラシア(欧州・NIS諸国)	原油	3,089千バレル	35,473	2,399千バレル	18,222
中東・アフリカ	原油	14,188千バレル	156,754	13,896千バレル	103,881
米州	原油	6千バレル	66	163千バレル	896
	天然ガス (LPGを除く)	9,609百万CF	3,317	9,005百万CF	1,222
	小計		3,384		2,118
合計	原油	20,319千バレル	226,495	20,661千バレル	155,066
	天然ガス (LPGを除く)	75,512百万CF	103,831	81,459百万CF	82,935
	LPG	735千バレル	5,965	542千バレル	2,855
	その他		4,877		3,434
	合計		341,170		244,292

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 決算日が12月31日の連結子会社につきまして、連結決算日で決算を行っている会社を除き、1月から3月の業績を第1四半期として連結しております。ただし、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っております。

3 販売量は、単位未満を四捨五入しております。

4 主要相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は以下のとおりであります。なお、プラatinaへの販売の大部分は天然ガスであり、LNGとして日本、韓国、台湾等の需要家へ販売しております。

相手先	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	
	金額 (百万円)	割合 (%)	金額 (百万円)	割合 (%)
プラatina	50,437	14.8	27,947	11.4